

海外飛びある記

北海道パーケット工業株式会社
社長 井村 守治

(2)

アメリカは下地モルタルの仕上げが良好なためにモザイクの仕上がりも実に良い。塗装はポリウレタンを使用していた。現場の仕上がり価格は平方呎50セント(坪当り六、五〇〇円)内訳はサウダー掛け6セント(八〇〇円)施工塗装15セント(二、〇〇〇円)程度である。

米国の偉大さを痛感

のある倉庫を持ち、あらゆる床板を在庫していた。アメリカ産オーク・モザイクは色の調和が非常に良い。価格は日本品より一割高と聞いた。日本のモザイクを長期契約したい意向を開く。新住宅の床材にはカーペット(SERIES)モザイク・パーケット(STE. 360)・ビニール(STE. 360)・F30(ビニール)の三種を使用している。三種類の使用割合が木造建下地には米松の合板が使われている。サンデーゴ
ロより二百里(二二〇キロ)のところ、時速八〇哩

10月19日 シスコ飛行場でウッド氏と会い、ヘリコプターで約三十分オー克蘭ドへ行く。
P・E・フロア社訪問現在18×18のサイズが在庫少々有り。施工現場に行く市内の高台に新築の十八階建のアパートが出来上ったばかりで、実にすばらしい。
10月20日 レンターカーを利用してウッド氏の販売先をまわる。ページニヤ、ハードウッドKK、HGR、ウント社を訪問。カルホニヤに広い市場を持ち我々の一番大きな販売先であるウッド氏の話では、この主人はグッド・ビジネスマンだという。貨車の引込線

10月21日 ウッド氏、伊藤氏共にこれ別れること
10月22日 三井物産の支店を訪問。渡辺氏に会う。ブナ材の表面塗装された家具類が多数陳列されている。オークの割合が多く金属と木材のミックス、調和が非常に良い。
10月23日 コンチネンタル航空のすばらしいジェット機、スチュワーデスの真黒の服と真赤な帽子が目につく。途中テキサスの砂漠の山々、クランツキャニオンの雄大な眺めを眼下に見ながらヒューストンに着く。物産の荒川氏に迎えられ市街へ。今までに見えなかった高層建築が多く、最近の建物ほとんど四十階程度のものが多い。地震の無い地方だけに骨組みは非メキシコ沿岸より八〇キロの大運河を一万トンの船が容易に航行している。海のな道路が走り工業地区が並んでいて大工場が密集している。メキシコ戦争で有名な古戦場サン・アサント、アラモのトリデが近い。

人の使い方

知らぬ土地を一人で歩くのはなんとなく不安なものだし、またある程度知っていても電灯もなく、月明かりで歩くと、暗い夜道に歩くと、なんとなく不安な気持ちになる。これは「見通し」がたないためということができる。その証拠には全く知らぬ土地でもこの道を真直ぐ行けば何線かの何という駅に出るといふことだけでも知っていただければ、不安はなくなる。また、よく通る夜道でもよく通る道なら、不安感もたないからである。

仕事と見通し

こんな例はまだある。戦時中の話だが空襲はいやなものであったが、砲撃にくらべれば恐怖感はない。これなども空襲は攻撃してくる飛行機がみえるから、すなわち大体どこから、へんから弾がおちてくるかの見通しがたつからよいが、砲撃となると敵の大砲がみえないため、どこから、へんから弾が落ちるか見通しえなう。この心理は戦場で

毎月第三金曜に 定例常議員会の開催日

第五回常議員会は二月二十五日午後二時から本所議員室で開かれた。各委員長、部長から委員会、部会の決定事項が報告されたあと、議事には九議案を次のとおり議決、午後五時散会した。
①経済視察について一、本年の視察場所、時期など事務局で2、3の原案を作った。改定して提案することにした。
②産業会館建設について一、辻委員長が答申書の内容を説明、また末松拓郎函館支店長から拓銀側との交渉とビル構想が説明された。これによると大ホールは会議所の要望どおり建設が予定されており、地上八階地下二階、四百坪(工程十八ヵ月)建設費(但し六階建としての計算)七千六百万円(坪二十四万六千円)共用分損金などが明らかにされた。会議所側の所要スペースは二百九十坪を買い取るためには一億一千万円と経常費月額四十万円を要することになるので委員会ではさらに資金の造成その他について引続き調査検討を進め、なるべく早く会議所側の回答を拓銀に伝えることとした。

③常議員会の定例日設定について一、毎月第三金曜日午後二時開催することにした。
④産業会館建設調査特別委員会委員長は進藤副委員長の後任に宮崎善四郎議員を推せん、全員賛成した。
⑤二、三議員、常議員の補充について一、補充するか、どうかについて次回総会に諮り、補充することにした。二、三議員を選出すること承認した。また常議員の補充は二、三議員を選出すること承認した。また常議員の補充は二、三議員を選出すること承認した。

⑥海上自衛隊基地の誘致について一、海上自衛隊基地函館誘致期成会の結成を渡辺会頭に一任した。
⑦ソ連最高会議スピリドノフ議長ならびにネステロフ全ソ商業会議所会頭宛謝電について一、スピリドノフ議長には市長、会頭連名で打電して、もうよう市に依頼、ネステロフ会頭には会頭名で打電することにした。
⑧本所七十周年記念行事について一、記念事業実施には全員賛成、記念講演会、動員員表彰、七十年史編纂など事業実施予算案は総務運営委員会付託に決定。
⑨議員見舞金申合せ事項改定について一、対象

をいずれも議員本人に限定し病氣療養一ヵ月以上の場合は一人五百五十円、死亡の場合は一人五百円拠出と決めた。
⑩第三回広域経済圏建設委員会二月二十五日正午から本所議員室で開催、次の案件を協議決定した。
①海上自衛隊基地誘致について一、防衛庁では北海道に海上自衛隊基地設立の意向と伝えられている折柄、他都市に立ちあぐねるよう誘致運動を起す必要があり立地条件など函館は適格性を備えているので早く函館誘致期成会を結成して誘致運動に乗り出すよう常議員会に提案することを決めた。

港まつり調査委員
港まつり振興調査特別委員会は二月二十三日午後二時から本所議員室で開催、花電車、港まつり調査期間、協賛事業、企画などについて協議した。議員以外に委員推せん者次のとおり
▽森屋常務取締役本所正名▽十字街商店街幹事長林桂太郎▽本町商店街幹事長忠沢初夫▽函館市観光課長太田雅和▽日本交通公社函館支店長長谷川政雄▽函館市港務振興会々長伊賀勝二▽函館繊維製品卸商組合代表(組合側に推せんを依頼)

労務厚生委員会
第二回労務厚生委員会は二月八日午後二時から本所会議室で開催した。主な協議事項次のとおり。
①社会保険、失業保険等の改正に伴う説明会を三月中旬に開催すること②次回委員会は二月下旬ごろに開催商工指導センター阿久沢函館支店長と懇談会を開くこと。